

第1回 こころ部会 報告書

令5年5月17日

開催日時	令和5年5月17日(水)14:00～	場所	千曲市ふれあい福祉センター 会議室5
部会員 (出席20名)	千曲市精神障害家族会(小瀧廣)/千曲市民生児童委員協議会(山崎常安)/坂城町民生児童委員協議会(吉澤正照)/訪問看護ステーションはる風(宮澤裕子)/訪問看護ステーションあやめ(伊藤史織・有馬雅也)/訪問看護ステーションデューン(平林愛実・原広賢)/いなりやま福祉会相談支援事業所(大村一雅)/地域活動支援センター 坂城(竹内安由美)/稲荷山太陽の園(竹内真由美・久保まゆみ)/相談支援事業所Fit(宮下幸恵)/長野保健福祉事務所(秦千穂・鈴木玲)/千曲市保健センター(牧野絵里)/千曲市福祉課(橋立慎太郎)/千曲・坂城障がい者(児)基幹相談支援センター(中澤範子・本多将之)/坂城町福祉健康課(高尾幸矢)		

(1) 報告事項 ほか

○ 行政より今年度の体制について

千曲市福祉課:村山さんが他課へ異動し、和田さんが福祉課へ。会計任用職員の中村さんが退職。

坂城町福祉健康課:前年度から変わらず。

○ 千曲・坂城障がい者(児)基幹相談支援センターより

所長は、中澤さんへ変更。前所長の中村さんは週1回の勤務。小山さんが退職。本多さんは新規配属。

○ ひこばえの会(ピアの会)について(事務局より)

令和5年3月23日(木)第1回ピアくななかま>の会が開かれた。当日は、当事者9名、支援者10名の参加があった。

参加者で会の名前について検討し「ひこばえの会」に決定した。

今年度の活動として、イベント(暑気払い・新年会)の開催を検討。

こころ部会とのコラボ企画、協議会(こころ部会・さんさんネット部会)への参加を検討している。

(2) 協議事項 および 内容

(1)千曲・坂城地域自立支援協議会について

こころ部会は、千曲・坂城地域自立支援協議会の専門部会として位置づけされている。精神障がいのある方が、生きいきと暮らすための地域づくりを目指して検討を行っている。精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム構築検討委員会(Nimo包括検討委員会)とも連動して課題に取り組んでいる。

Nimo包括検討委員会は、令和3年度末に設置され、令和4年度になり本格的に協議の場としてスタートした。昨年度の委員会で検討された地域課題の中で、今年度検討すべき課題を「障害の理解」と「当事者の声」に定め、包括的に取り組んでいくこととなった。

(2)令和4年度の活動の振り返りおよび今年度の活動について

前年度は「精神障がい者が安心して過ごせる日中活動の場等について検討する」を年間目標として活動。地域課題の現状を把握するアンケートの結果に基づき協議し、地域に合った地活等の日中活動の場・交通手段が必要、資金や人材が不足しているなどの課題が出された。日中活動の場の充実は地域移行としても重要であることを再度共通認識した。また、ピアサポーターの活動を学ぶ研修として、小諸高原病院より講師を招き講演をしていただいた。これがきっかけとなり「ひこばえの会」の発足に繋がった。Nimo包括検討委員会との連動については、こころ部会でもNimo包括検討委員会の会議内容が情報共有され、課題について認識することができた。

今年度は、Nimo包括検討委員会との連動を意識して活動することを年間目標とした。活動内容としては、精神障がいの方が安心して過ごせる日中活動の場等について検討する。Nimo包括で協議された内容を注視し、共通意識をもって協議を進めていく。ピアサポーターの活動の可能性を探りつつ、希望者が増えるように検討していく事とした。

(3)副部会長の選出について

新副部会長は立候補なく、事務局に一任された。事務局より、訪問看護ステーションデューンちくま:平林さんが推薦され、部会員により承認された。

(4)今年度の研修会内容について

アンケートや部会員の意見より、障害の理解を深めるため、篠ノ井橋病院の遊木先生の講演や精神保健専門員による講演、周産期の産後うつ等への支援機関の講演、ピアサポートに関する講演等の意見が挙げられた。研修会のターゲットを確定させて検討することも必要だとの意見が出された。

(3) 結果

地域連絡会で検討したい課題 []

(4) その他(お知らせ・次回開催日など)

事務局より、Nimo包括検討委員会で実施している取組調査アンケートをこころ部会委員にも送付させていただくと説明。

次回こころ部会開催は8月23日(水)14時より千曲市ふれあいセンターにて行う。

Nimo包括検討委員会は、6月28日(水)16時より千曲市ふれあいセンターにて行う。